

鳥栖・三養基地域自立支援協議会
令和6年度 第2回運営事務会議【議事録】

日時：令和6年7月17日（水）10：00～11：00

場所：鳥栖市役所南別館2階A

(1) 運営事務に関する報告、協議について

- ・各専門部会より活動実績について

○地域生活支援拠点検討会

- ・4月、6月の2回実施。今年度の報酬改定で打ち出された拠点コーディネーターの配置について確認、意見交換を行っている。
- ・6月の検討会では昨年度の研修会からのながれもあり、施設で生活する重度障害者の地域移行を検討するにあたって、若木園の活動、利用者の生活について理解を深めた。今後、くらしの支援部会でも実施予定。

○こども部会

- ・4月、7月の2回実施。行政、医療、教育機関と共にアンケートに基づいた情報共有を実施している。特に教育機関との連携の難しさを感じる内容や、医療機関からは福祉サービスの充実がこどもたちの支援の助けになっているという意見も見られた。今後は保護者から選ばれるサービスを目指した質の向上や、相談支援専門員との連携について検討を深めていく。

○医療的ケア児連携強化WG

- ・6月は幼稚園で受け入れがある事例について保護者や訪問看護の事例を交えて、情報共有を行った。次回は8月の予定。多くの支援者が参加しての座談会を検討している。

○就労支援部会

- ・6月に実施、年間計画について意見を募った。また、虐待防止研修として佐賀県障害福祉課より、今年度の改正点も含めた虐待防止、身体拘束に係るポイントの説明を頂いた。加えて、就労支援事業所で起こった虐待と疑われる事例についてロールプレイを交えたグループワークを行った。
- ・その他、今年度は一般就労との連携を見据えた、アンケートの協力などを検討している。

○くらしの支援部会生活の場協議会

- ・5月に第一回を実施、年度をまたいで続けているグループホームの事業所紹介を3件行った。グループホームの情報については今後キャッチのホームページにて情報提供を検討している。
- ・また、今年の報酬改定での不安、各事業所の状況を共有するためのグループワークを実施した。

○くらしの支援部会地域移行退院促進協議会

- ・5月に実施。令和6年度開始の精神保健福祉法に係る制度についての説明及び、疑問点についてグループワークを行いその旨を佐賀県にも意見として提出している。
- ・制度に関して、県からもすぐに動きがとられるわけではなく、今後体制が整っていくものもあり、部会ごとの情報提供については継続して実施を行っていく。
- ・次回は地域移行支援を活用した長期入院者の退院支援事例を基に、今後の退院支援、地域移行についての課題検討を実施する。生活の場協議会と合同開催予定。

○障害者差別解消支援地域協議会

- ・7月に第一回を開催予定。合理的配慮の義務化、意思決定支援の考え方の地域へ広報も主軸に情報提供を行っていく。
今年度の研修会は、地域資源を使いながら自宅で生活する難病の方とその支援者に登壇していただき、地域での生活について本人の口から話を行ってもらおう予定。10月地域生活支援拠点検討会と合同開催予定。

○相談部会

- ・5月に実施。今年度の報酬改定について事前質問を集め、その見解について行政より説明をもらった。新規開設事業所もあるので、今後は相互の紹介が出来る場を提供していく予定。また今年度はこども部会との連携した内容も企画していきたいと考えている。

(2) 令和6年度自立支援協議会第1回全体会について

- ・全体会議題について（別紙全体会議題案参照）【資料1】
- ・(3)の議題についても報告を行っていく。

(3) その他（意見交換・連絡事項）

- ・児童発達支援センター中核機関について
若楠児童発達支援センターが東部圏域の中核機関としての役割を今年度から担う予定。今後はこども部会を中心とした、協議会への参画を検討していく。
- ・R6年度佐賀県相談支援従事者初任者研修集合調査について
今年度も初任者研修の集合調査の役割をキャッチで担っていく。ただ、講義間のインターバル期間を考えると8月23日の全体会に参加してもらおうということで今年度の集合調査とすることで了解を得た。
- ・令和6年度からの合理的配慮の事業所からの提供義務化に関して実施事例があれば自立支援協議会でも共有していきたい。
- ・圏域での主任相談支援専門員設置に向けた検討について

○ 次回会議：令和6年10月16日（水）10:00～11:00

- ・鳥栖市役所 3階大会議室1